

令和7年度 認知症予防・啓発講演会 実施報告

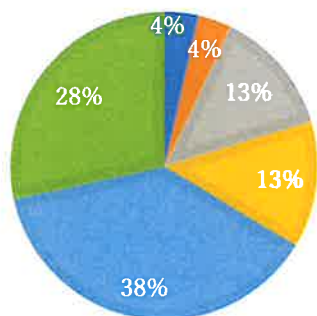
- 目的 認知症の理解に必要な知識をより多くの方に知っていただくとともに、自分ごととして考えていただく機会としたい。
- 日時 令和7年11月29日(土曜日) 14:00～16:00
- 会場 諏訪市総合福祉センター 湯小路いきいき元気館 交流ひろば
- 内容 実話をもとに描かれた映画「オレンジ・ランプ」の上映及び認知症パネル展
- 参加者 129名 (一般参加者:118名)



アンケート集計

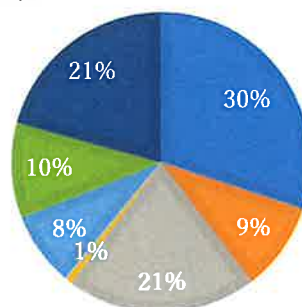
1.参加者の年齢

■40歳未満 ■40代 ■50代
■60代 ■70代 ■80歳以上



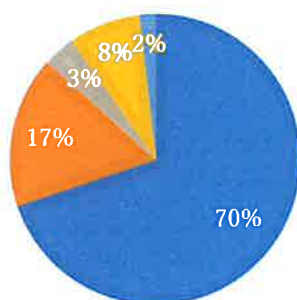
2.開催を知ったきっかけ：複数回答

■広報すわ ■ポスター ■チラシ
■すわまるっ！ ■諏訪市LINE ■新聞
■その他



3.何回目の参加か

■初めて ■2回目 ■3回目 ■それ以上 ■わからない



4.映画を視聴してのご意見、ご感想(抜粋)

- ・本人だけでなく、周りの人たちが理解していくことが大切だと感じました。
- ・とてもいい映画でした。
- ・家族や人とのつながりが大切だと思いました。
- ・自分も近く認知症になると覚悟しています。家族との話し合いやつながりを大切にしたいと思いました。
- ・声かけひとつでお互いの気持ちや行動が変わる。
- ・認知症になってもあきらめず、周りに支えてもらいながら生きていけることがわかりました。
- ・周りの人に認知症を伝えることは難しい。映画のようにはいかない。
- ・まず知ることから始めようと思いました。
- ・認知症に対して悲観するのではなく、周囲の人たちが協力してあげることで、前向きに明るく生きていくことができることが理解できました。
- ・夫の進んできた道を思い出しました。どんどん進んでしまったので、もっと話しかけてあげればよかったと思いました。
- ・本当はもっと悲観。きれいごとになっている気もしました。
- ・映画のようにするには時間がかかる。広く、多く、研修を行ってください。
- ・支え合う心。
- ・若い人でも認知症になることに驚いた。周りの人たちの思いやりが大切。とても勉強になりました。
- ・自分ごととして胸にしみました。パネル参考になりました。